



平成 18 年 4 月 26 日

各 位

会社名 株式会社ディーワンダーランド
代表者名 代表取締役社長 久野 哲彦
JASDAQ・コード 9611
問い合わせ先
役職・氏名 取締役管理部長 大浦 隆文
電話 03 - 5421 - 6111

平成 18 年 9 月期中間期業績予想（個別）の修正に関するお知らせ

平成18年9月期(平成17年10月1日～平成18年9月30日)の中間期の業績予想（個別）について、平成17年11月18日の決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 18 年 9 月期中間業績予想（個別）の修正（平成 17 年 10 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

	売 上 高	経 常 利 益	当 期 純 利 益
前回発表予想（A）	444	76	430
今回修正予想（B）	19	88	570
増減額（B - A）	425	164	140
増 減 率（％）	95.7		
（ご参考） 前期実績（平成 17 年 9 月中 間期）	61	52	66

（金額の単位：百万円）

２．修正の理由

当個別中間期におきまして、当社は前期に受注いたしました大型システム開発案件（売上予定額 300 百万円）の遂行に全力を注いで参りましたが、顧客からの仕様変更、追加要件の要請により開発工数が増加し、案件としての規模が大きくなり、難易度も上がったために開発に遅れが発生いたしました。そのため、開発の進行に応じた分割検収による売上計上についても検討いたしましたが、当個別中間期末時点におきまして保守的に会計処理を行うことを決定したため、全額が下期にずれ込むこととなりました。また、当該案件納品後に、そのシステムの運用・展開（売上予定額 82 百万円）及び保守管理（売上予定額 12 百万円）として見込んでおりました案件につきましても開始することが出来ず、また、別途見込んでおりました諸案件（売上予定額 31 百万円）につきましても、当該案件遅れの影響で営業活動の動き出しも遅れ、受注には至りませんでした。その結果、売上高は当初売上計画を大幅に下回り、19 百万円（当初予想比 425 百万円減）となる見込みであります。経常利益につきましても、売上高減少による利益減及び第三者割当増資による新株発行費用等の発生により、経常損失は 88 百万円（当初予想比 164 百万円減）となり、中間純利益につきましては、投資有価証券売却益 31 百万円等により特別利益で 39 百万円計上したものの、「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に伴い、所有する固定資産について減損処理を行い、特別損失を 521 百万円計上したため、中間純損失は 570 百万円（当初予想比 140 百万円減）となる見込みであります。なお、本日のお知らせにつきましては、当個別中間期の売上のみではなく、投資判断を適正に行っていただくために、経常損失及び中間純損失の業績予想の修正数値確定後、速やかに発表させていただいております。

また、平成 18 年 9 月期通期業績予想（個別）につきましても、平成 18 年 3 月 31 日に株式会社大黒屋を子会社化したことにより、次事業年度から連結納税の開始を予定しておりますので、それに伴う会計的な対応方針が固まり次第、速やかに修正発表をさせていただきます。また、平成 18 年 9 月期通期業績予想（連結）につきましては、平成 18 年 5 月 26 日発表予定の平成 18 年 9 月期中間決算短信（連結）にて発表させていただきます。

以 上